

ISO27001とPマーク認証 業界初のW取得でセキュリティ強化

05

■株式会社ハッピースマイル

写 写真代行販売サービスを展開する株式会社ハッピースマイルは、情報セキュリティに関する国際規格「ISO27001」の認証を、昨年11月24日付で取得した（認証機関は株式会社マネジメントシステム評価センター）。「プライバシーマーク（以下、Pマーク）」と「ISO27001」の認定を同時に取得するのは、写真代行販売サービス業者のなかでは初めてのこと。

ハッピースマイルは保育園・幼稚園を中心にした、インターネット即日販売が可能な、無料で利用できる写真代行販売サービス「みんなのおもいで.com」と、結婚写真ネット販売サービス「アビエスタ」を全国に展開している。「情報セキュリティにどれだけ力を入れているのかを、言葉ではなく形で説明した」と語るのは、代表取締役社長兼CEOの佐藤堅一氏だ。「個人情報保護」という言葉がひとり歩きするなか、情報セキュリティ対策について説明を求められたとき、PマークとISOの二本立てで体制を組んでいることが説得材料となる。「やはり顧客に安心してもらうことが、認証取得の理由として一番大きかった」（佐藤氏）。

ところで、PマークとISO27001の違いとは何か。まず異なるのは、その対象範囲だ。Pマークは個人情報のみに特化しているが、ISO27001は個人情報以外にも、組織が有する情報すべてのリスクを低減・回避・予防することを目的とし、その対象は組織全体に及ぶ。また、Pマークは日本国内のみで使用されているが、ISOは全世界共通の国際規格である。

「今回の取得で最も大きく変わったのは、社内の意識」と佐藤

氏はいう。ISO27001の取得に伴って行われる2日間の現地審査では、各部署の責任者が審査員と直接面談する。その際、いつも作業している場で、いつも使っているシステムの弱いところを洗い出し、どこにリスクがあるのかを徹底して意識付けていく。この工程を通じ、作業にあたる社員一人ひとりの情報セキュリティに対する意識が変革したという。

情報漏洩の発生原因のおよそ9割は、社内からのうっかりミスという調査結果がある（JNSA「2012年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」2014年8月改定）。情報漏洩は外部からのサイバー攻撃などではなく、内部から起きるケースが圧倒的に多い。具体的には、紛失や誤廃棄といった管理ミス（59.0%）、誤操作（20.1%）、紛失・置き忘れ（8.0%）などとなっている。ヒューマンエラーを未然に防ぐためには、業務や操作の手順づくりと遵守は不可欠である。

同社がISO27001を取得するまでにかかった期間は8カ月。取得後も3年に1回の更新審査のほか、1年に1回（企業によっては半年に1回）のサーベイランス（維持審査）を受審しなければならない。佐藤氏は「審査が終わった途端に次の審査の準備に入る」とする。また、時間や費用をかけてまで対策を進める理由として、「写真という個人情報を守る企業にとって、情報が漏れない仕組みは絶対に不可欠」としたうえで、「他の写真販売代行サービス業者は主にシステム会社だが、当社は写真屋からスタートしている。写真に関する詳しい知識をもつのはもちろんのこと、社内に現像機を保有し、現像まですべてを内製化

している。プリントした写真を発送するまでのすべての工程を社内内で完結し、外部には一歩も出さない」と力を込めて語った。

同社ではUTM（統合脅威管理）の仕組みも構築。外部からの不正アクセスを防御するほか、万が一事故が発生した場合に発生元を特定することができるようにするなど、体制強化を徹底する。

同社の写真代行販売サービスを導入する団体数はおよそ1,500。うち、写真館・フォトグラファーの数はおよそ100となっている。今回のISO27001の認証取得は、写真館・フォトグラファーにとってどのようなメリットをもたらすのか。「たとえば学校写真を扱う写真館が当社のシステムの利用を学校に奨める際、先方の懸念を払拭する営業の後押しとなる。セキュリティを心配する学校を説得するための材料として、ご活用いただけて考えている」（佐藤氏）。

最近では、現像機の買い替えのタイミングに、同社のサービスを導入する写真館が増えているという。昨年のPHOTONEXTに初出展した同社は、ことしも昨年同様2小間で出展する。詳細はまだ明らかにはしていないが、現在新たなサービスを開発している最中で、6月のPHOTONEXTの開催に間に合わせるかたちで発表したい意向を示している。

一方昨年8月には、外国人保護者の増加を受け、「みんなのおもいで.com」の英語対応を行った。英語版のWebサイトを公開したほか、英語専用のサポートデスクを設け、英語による電話やメールでの問い合わせにも対応する。今後はニーズがあれば中国語などにも対応していく方針だ。



みんなのおもいで.comのキャラクター。

みんなのおもいで.comのサンプル画面。導入費用、利用料金、月額費用、サーバー使用料、枚数による課金、パスワード発行料などは一切かからず、無料で利用することができる。展示枚数にも制限は設けていない。販売価格は導入側が自由に設定できる。代金の決済や写真の送付もすべて同社が代行。販売価格からプリント代金を差し引いた金額を、売上として振り込むシステムとなっている。

